

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 石川県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	<p>能登町立宇出津小学校</p> <p>全校児童（講演会） 209名</p> <p>5, 6年児童（実技指導） 70名</p> <p>保護者・地域の方 10名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 (オリンピアン・パラリンピアン の派遣事業)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピアン の講演や交流を通して、自分の生活を振り返り、目標を持ち困難にくじけず、最後まで粘り強くやり遂げようとする意欲を高める。 ・実技指導を通して、運動の仕方を知り、運動の楽しさを味わうことができる。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「笑顔と素直な心」 トップアスリートの生き方や考え方、経験してきたことを聞くことにより、目標に向かって努力することのすばらしさを感じることができた。また、日ごろから大切にしている言葉や生活習慣の中から、自分でも実践できそうなことを探すことへとつながった。 ・実技指導 ランニングフォームについて、具体的なアドバイスを受けながらいくつかのトレーニングを体験した。一つ一つの動きを考えながら活動することは、児童にとって、とても大切なことであった。 実技指導の最後は、本物の走りをとともに体験するために、5, 6年生の選抜チームとのリレー対決を行った。児童は、本物の走りを見近に見ることによって、そのすごさを実感するとともに、自分自身もなりたいという憧れをもつことができた。



	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 走り始め時のことやオリンピックに出るまでの努力したことなど、大変詳しく話してくださり、すごい方なのにとっても親近感を感じながら話を聞くことができた。 • 赤羽さんの話の中で、大切にされていることとして、①目標や夢を持つこと、②強い気持ちをもってやりきること、③出会いに感謝することを挙げられていた。オリンピックに出場した方からの言葉には大変重みや説得力があり、児童にとってとても心に残るものとなった。 • 実技指導では、フォームについて具体的指導（腕の振り方、腹筋からお尻の筋肉の使い方など）があり、児童は真剣に取り組むことができた。 • 最後に行ったリレーでは、実際の走りを見せていただき感動するとともに、勝負にこだわり全力でスポーツすることのすがすがしさを感じることができた。 • 校内マラソン大会に向けて、気持ちを高めるための大変すばらしい機会となった。
<p>7実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 校内マラソン大会の練習に取り組んでいる最中での講演・実技指導だったため、児童にとっては大変興味をもって参加することができた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 低学年には講演会の内容が少し難しかったかもしれない。 • その場限りの活動とならないように、今後の活動につなげていく必要がある。今回は、直後にマラソン大会があったのでしっかりとつなげることができた。
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>未定</p>